

都市計画道路「狭山市駅上諏訪線」未整備区間のルート変更

4月 説明公聴会 質疑応答の概要

この質疑応答集は、質問や意見、回答を集約し概要を掲載しています。

日時 平成21年4月12日（日）午後2時から
会場 狭山市立博物館
参加者 36名

質問1

道路が出来たことによる騒音や振動、迂回車両等、周辺住民に対する環境・安全対策はどのようになるでしょうか。書面で回答願えませんでしょうか。

回答1

周辺の方々への環境に配慮し道路は作られるわけですが、具体的な問題や要望がある場合、また、書面での回答も必要に応じ個別に対処させていただきたいと思います。

質問2

この付近の道路は、特に通勤時間帯の抜け道になっています。また、医療施設への来院者、大型車までもが私道へ進入してきて大変危険です。対策をとっていただけないでしょうか。

回答2

関係する部署で、対応について何ができるか検討するよう連絡させていただきたいと思います。

質問3

ルート案にある半径160アールについては、通過車両やそのコーナー内側から車道へ出る場合、お互いを確認するのに間が取れないものと考えられるが設計理由について教えてください。

回答3

取得済の用地を有効利用し狭山市道へ接続する場合2つのカーブを連続して使う必要が設計段階でわかりました。道路の設計基準には、設計速度により曲線長（曲がり始めから終わるまでの長さ）は最低70メートルと決められています。半径250アールの曲線長が約71メートルと基準ぎりぎりであることから、半径160アールをこれ以上大きくすると、更にもうひとつ

カーブを連結しなければならないことがわかっています。2つのカーブの組み合わせを検討した結果160と250が最適と判断いたしました。また、カーブ内側からの視界等については交通安全施設により個別に対応していきたいと思います。

質問4

整備時期が不明だと市の意思も伝わらないし無責任だと思います。ある程度の目途を示していただけませんか。

回答4

事業サイドとしては、この区間は整備優先順位が非常に高いものと考えていますが、市の振興計画の後期基本計画（23年度から）に位置づけ、事業に着手できればと考えています。ご理解くださいますようお願いいたします。

質問5

12月の説明会、また、本日の質疑応答についての記録かメモを配布していただけないでしょうか。

回答5

12月の地権者説明会、本日の説明公聴会双方の報告は、ホームページと出席者への通知等で皆様に必ずお知らせすることをお約束いたします。

質問6

近隣市では、都市計画道路の整備が進んでいるようですが、狭山市はどうして遅いのでしょうか。

回答6

我々の調査では、西部地区で整備率の高いのは所沢市の約67パーセントで、川越市については40パーセントを切っています。狭山市は65パーセントですから悲観的に考えていません。しかしながら、1パーセントでも整備率が上がるよう今後も努めてまいりたいと思います。

質問7

12月の説明会で、裏山を通るルートについての検討結果が示されていませんがいかがでしょうか。

回答7

稲荷山公園の山際を通すルートについては、前回もお答えしておりますが、特別緑地保全地区の指定を受けている区域を利用することは原則できません。

また、公園を避けて計画した場合は、家屋等の移転物件数も多いことから総合的に判断し出来ないものと考えています。

質問8

今後の進め方、意見の集約と検討についてはどうなるのでしょうか。

回答8

地権者説明会、説明公聴会の報告は、ルート案へ直接関係しない周辺環境についての意見も含め、都市計画決定手続きの過程で、狭山市都市計画審議会へ報告いたします。

質問9

ルートの変更案に対する意見と周辺環境に対する意見を分けて考えるのはおかしいと思いますがいかがでしょうか。

回答9

変更計画段階で、それに伴う様々な影響・問題は実際整備を行って行くうえで大きな課題であると考えておりますので、できる限り対処させていただきますが、ルート自体との問題とは別であるものと認識しています。